



地盤の層別沈下と側方変位を、
1本のボーリング孔で測定する。

Electronic

山岳トンネル/地下構造	シールドトンネル	地盤/山留め	基礎/ケーソン
近接施工	斜面防災	コンクリート構造	ダム・メンテナンス
鉄道関連	道路関連	橋梁関連	エネルギー関連

◆ 概要

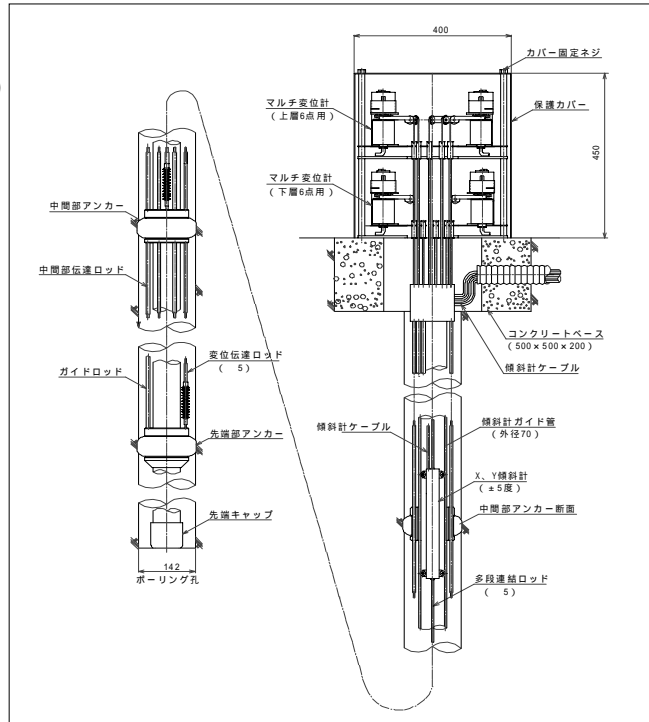
既設のトンネルや構造物の至近距離で新しい構造物を建設する事例はよくあります。高速道路の1期線(供用中)に近接して2期線を建設するなどはその例です。本器は2期線の工事が供用中の1期線への影響を未然に防止するため、予め、地盤の沈下と側方変位を測定する計器をセットにして1本のボーリング孔に設置してモニタリングするシステムです。

◆ 特徴

地盤の深度毎の沈下と側方変位を1本のボーリング孔で測定できるので経済的です。

沈下と側方変位の2つの現象が1つの孔で測定できますので、別々の孔で測定する場合に比べて、地盤条件の差異がありません。

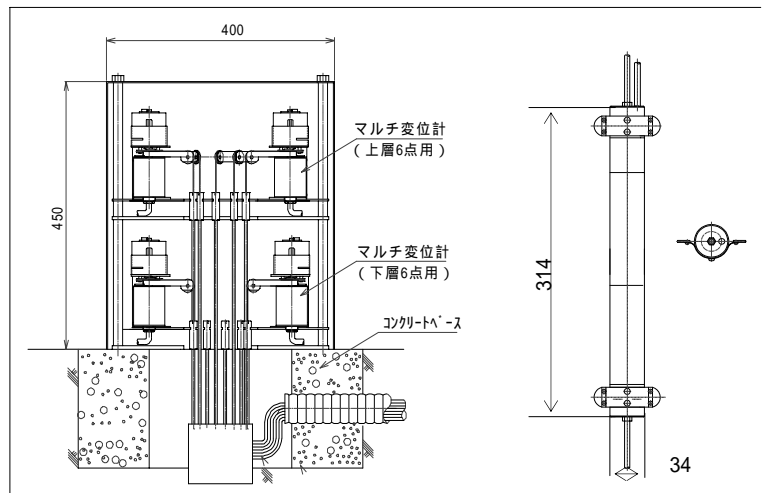
削孔と設置が一度で済みますので経済的以外に時間短縮につながります。



設置概略図

◆ 仕様

測定範囲	沈下測定	± 25mm
	傾斜測定	± 5°
測定精度	沈下測定	± 1.0%R.O
	傾斜測定	± 1.0%R.O
最大測定点数	傾斜測定	22点
	沈下測定	12点
ボーリング	穿孔径	142
	最大設置深度	50m
測定ケーブル	沈下測定	9×4芯ケーブル
	傾斜測定	5.8×8芯ケーブル



層別沈下(ワイヤ式変位計)

側方変位(埋設型傾斜計)

お問い合わせ



東横エルメス

ISO9001

製造部

TEL (046)233-7715(代)

峯尾、小林

営業部

TEL (03) 3256-7788(代)

竹内